

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	2	財政管理費	58

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	財政管理
事業目的	将来に渡り、限られた財源の中で効率的、効果的な行政サービスを提供する。
事業内容	<p>●主な事業内容と予算の内訳</p> <p>○財政管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（愛知県庁への出張等）：37千円 ・消耗品費（参考書籍、コピー用紙、建通新聞購読料等）：176千円 ・印刷製本費（令和4年度当初予算書）：558千円 ・手数料（市債残高証明書発行手数料）：2千円 ・使用料（コリンズ・テクリスシステム使用料）：22千円 <p>○財政調整基金</p> <p>年度間における財源の不均衡の調整のほか、新型コロナウイルス感染症対策や災害復旧のような臨時的な補正予算、あるいは、経済情勢の変動等により市税収入が減少した場合などに活用（財源として繰り入れ）する。なお、決算剰余金や補正予算に応じて決算額は変動するが、令和3年度当初予算では、預金利子相当額の積み立てのみの計上を行った。 （歳入にて予算全体における財源不足を補填するための繰入金を計上） 積立金計上額：302千円（令和2年度末時点残高：約16億9千万円）※14号補正後の見込額</p> <p>○減債基金</p> <p>市場公募債を発行する場合には用途が限定されたこの基金への積み立てが想定されるが、当該市債を発行する予定はないため、預金利子相当額の積み立てのみの計上を行った。 積立金計上額：1千円（令和2年度末時点残高：約76万円）</p>
事業の目標	<p>○財政管理：毎会計年度の予算を調製し、議案として製本する。</p> <p>○財政調整基金：一般的に当該地方公共団体における標準財政規模の10%程度の額（当市であれば約14億円）を「常時」確保することが望ましいとされる。本説明書の作成時点における令和2年度末の残高見込みは、新型コロナウイルス感染症対策による取り崩しなどにより、約16億9千万円で、令和3年度当初予算への繰入後は約12億1千万円に減少する。事業の実施時期や市債とのバランスを考慮しつつ残高の確保に努める。</p> <p>○減債基金：最低限の管理として利息の積み立てを行う。</p>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
財政管理	795	0	0	0	795	100%
財政調整基金積立金	302	0	0	302	0	0%
減債基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,098	0	0	303	795	72%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	3	財産管理費	63

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公有財産マネジメント
事業目的	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。 売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●公有財産マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ○普通財産の適正な維持管理を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・財産異動報告書の処理、台帳の更新、財産報告書の作成、除草業務の発注・管理、土地建物の貸付事務、要望・苦情対応、境界立会い ○行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討とそれに伴う事務手続きを実施 ○民間活力（ノウハウ、アイデア）の導入として民間提案制度等を活用する。 ●公共施設等管理基金積立金 <ul style="list-style-type: none"> ○使用料の一部（定額）、不用となった土地の売却によって生じる売却益を公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントのための財源確保を図る。 ●主な予算の内訳（令和3年度） <ul style="list-style-type: none"> ○普通財産管理 <ul style="list-style-type: none"> ・市有地除草業務委託料：619千円、営繕工事費：600千円 ○普通財産売却：天神污水处理場跡地、富岡字片洞1036-6 <ul style="list-style-type: none"> ・準備（測量登記委託料：57千円、不動産鑑定委託料：781千円、樹木伐採委託料：220千円） ・売却（公有財産オークションシステム利用料：4,163千円） ○公共施設管理基金積立金：基金運用利息分、使用料収入等の一部、不動産売払収入分 <ul style="list-style-type: none"> ・積立（公共施設等管理基金積立金：146,222千円）
事業の目標	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。 売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
公有財産マネジメント	7,249	0	0	2	7,247	100%
公共施設等管理基金積立金	146,222	0	0	126,222	20,000	14%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	153,471	0	0	126,224	27,247	18%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	13	ふるさと納税推進費	88

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	ふるさと犬山応援寄附金
事業目的	ふるさと納税による犬山市への寄附者に対し、記念品を贈呈するなど、寄附件数の増加を促し、自主財源の確保を図る。また、市内事業者のPR、消費を伴う産業の活性化を図る。なお、寄附金についてはふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として、毎年1月～12月の寄附金を翌年度の事業に充当している。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市外からのふるさと納税に対し、記念品の贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・申し込み方法は3種類（インターネット申し込み、郵送受付、窓口受付） ・支払い方法は3種類（カード決済などのキャッシュレス決済、銀行振り込み、納付書） ○寄附金の使い道は、原則として以下の9つから寄附者が選択 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化、産業、子育て、福祉、教育、健康、環境、都市基盤、市長にお任せ ○寄附金はふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として1月から12月までの寄附金を翌年度の事業に充当 ○寄附件数の増加を促すためにPR事業、魅力的な記念品開発、申し込みサイトの増設を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの設置、パンフレット作成など ・新たな地場産品、犬山市独自の記念品（シルバー人材センター、社会福祉協議会の活用など） ・現状の申し込みサイト（ふるさとチョイス、楽天、さとふる）に加え、新サイト（ふるなび）を増設 <p>●主な予算の内訳（令和3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 305,407千円（ふるさと納税記念品） ・役員費 14,479千円（通信運搬費、広告料、手数料：ふるさとチョイス、ふるなび） ・委託料 81,342千円（ふるさと納税サイト：楽天、さとふる、管理システム機能改善） ・使用料 19,980千円（申込フォーム：ふるさとチョイス、管理システム：エッグ） ・積立金 1,018,021千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の寄附受入額を上回る10億1千8百万円の寄附額を目指す。 ・目標を達成するための計画として、申し込みポータルサイトの拡充、魅力的な記念品の発掘、効果的なPR手法などの研究を進め、寄附件数（金額）増加のための施策を継続的に実施する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
ふるさと納税推進	422,054	0	0	287	421,767	100%
ふるさと犬山応援基金積立金	1,018,021	0	0	1,018,021	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,440,075	0	0	1,018,308	421,767	29%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
11	1	1,2	元金・利子	280

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公債費
事業目的	国の制度による臨時財政対策債や、各種事業の財源調達のために発行した事業債に係る借入金を返済する。
事業内容	<p>事業目的に同じ</p> <p>参考 令和3年度見込額（一般会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市債償還元金 1,903,917千円 ・市債利子 72,514千円 ・市債残高 19,876,026千円（令和3年度当初時点） <p>（令和2年度中の借り入れを2,248,374千円と想定 ※災害援護貸付金と繰り越しを考慮しない金額で、事業費や補助金額等により変動する。）</p>
事業の目標	<p>○歳出（公債費） 約定の期日に滞りなく返済する。</p> <p>○歳入（市債） コロナ禍の減収に対応するため、国の制度はもとより、当面は実施すべき事業の財源として積極的な活用が不可欠である。なお、実際の借り入れに際しては、期間や規模、借入先について、少しでも有利な条件を設定するとともに、後年の負担にも考慮する。</p>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
市債償還元金	1,903,917	0	0	0	1,903,917	100%
市債利子	72,514	0	0	0	72,514	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,976,431	0	0	0	1,976,431	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
12	1	1	土地取得費	280

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	普通財産取得費
事業目的	普通財産として土地を取得する。
事業内容	事業実施の予定がないため、頭出しのみの計上
事業の目標	

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地取得費	1	0	0	0	1	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1	0	0	0	1	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
13	1	1	予備費	282

部局名	経営部
課名	経営改善課

I : 事業概要

施策事業名	予備費
事業目的	予算計上のない支出や予算を超過する支出の財源とする。
事業内容	予備費 60,000千円 近年の実績に鑑み、前年度と同額を計上した。
事業の目標	災害復旧や施設設備の故障等に対応するための財源のほか、令和2年度は、緊急の新型コロナウイルス感染症対策の財源としても活用している。 当初予算編成における各所管各費目への予算配分は、限られた財源を必要最低限で行っていることから、補正予算や予算流用では対応が困難な緊急の財政需要に備える。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
予備費	60,000	0	0	0	60,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	60,000	0	0	0	60,000	100%